

科目名		授業形態	担当教員名	
基礎視能矯正学Ⅰ		講義・演習	山本 雅美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（ 1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
基礎視能矯正学Ⅰでは眼位と両眼視、外眼筋の作用、眼球運動について学びます。ここでの知識の習得は後の視能矯正学等の発展に不可欠です。まずは正常を理解し、視能障害を分析的に考える力を養います。				
授業の到達目標				
視能矯正学・視能訓練学に発展するために眼位と両眼視、眼球運動の基本的知識を習得する。 ①正常両眼視機能の成立を理解する。 ②複視の起こり方を眼位別にイメージができる。 ③網膜対応を状態別にイメージができる。 ④外眼筋の作用、眼球運動のメカニズムを理解する。				
授業計画				
回	内容			
1	ガイダンス 眼位の定義 眼位の種類 眼位の状態 斜視・斜位の種類			
2	両眼視の定義 正常両眼視機能（両眼視野 実際空間と視空間 網膜対応） 確認テスト①（眼位）			
3	正常両眼視機能（ホロプタ円 Panumの融像感覚圏）			
4	正常両眼視機能（同時視 融像）			
5	正常両眼視機能（深径覚 静的立体視と動的立体視 抑制） 両眼視機能の発達 両眼視機能成立の条件			
6	確認テスト②（両眼視）			
7	両眼視機能の異常（両眼視機能の異常と程度 複視）			
8	両眼視機能の異常（複視 抑制 混乱視）			
9	確認テスト③（複視）			
10	両眼視機能の異常（網膜対応異常）			
11	確認テスト④（抑制 混乱視 ARC）			
12	外眼筋の単独作用			
13	単眼運動とその法則・両眼共同運動・離反運動・共同筋と拮抗筋			
14	確認テスト⑤（外眼筋）			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	理解の確認のため随時行う。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
視能学 第3版		小林義治 他編	文光堂	
視能矯正学 改訂第3版		丸尾敏夫 編	金原出版	
視能学エキスパート 視能訓練学 第2版		若山曉美 他編	医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				